

# 立山

nagasaki  
higashi  
information



よき世を創る若人を育てるために  
長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校

長崎市立山5丁目13番1号

TEL 095-821-4642 / FAX 095-823-5472

URL <http://www.news.ed.jp/higashi-h/>

長崎東通信 第335号 令和7年3月24日発行

高3

## 77回生 卒業式

3月1日（土）、高校の第77回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生一人ひとりが担任の呼名に3年間の思いを込めて立派な返事で応え、学校長よりステージ上で卒業証書を堂々と受け取りました。川下華凜さんは答辞の中で「苦難を避けても責められない、人と向き合わなくても生きていける、そんな社会の中で、長崎東高校で得た経験を糧に、時には人とぶつかりながらも、あえて泥臭く逆境に立ち向かっていける人でありたい」と力強く述べました。卒業生は退場後、きれいに飾りつけされた中学1、2年生の教室前を通り、温かい拍手をもらいました。その後は最後のホームルームに臨み、友人や先生、保護者に向けて、感謝の気持ちや今の想いを涙と笑顔を交えて伝えました。卒業生の皆さんが幸せの多い人生を歩んでいけるよう祈っています。



中3

## 19回生 卒業式

3月14日（金）、長崎東中学校第19回卒業証書授与式が行われ、120名が義務教育の課程を修了しました。卒業生一人ひとりが堂々と壇上で卒業証書を受け取り、立派に成長した姿を見せてくれました。また卒業生代表の横濱怜奈さんは、答辞の中で3年間の学校生活を振り返りながら、共に過ごしてきた友人の大切さや、支えてくれた保護者や先生・後輩への思いを切々と語り、感動を与えてくれました。

最後のLHRでは、一人ひとりが周囲の方々への感謝の言葉をしっかりと伝えおり、大きな成長を感じました。

19回生のみなさん、卒業おめでとうございます。

職員一同、これからもずっと19回生を応援し続けます。19回生のみなさん、保護者の皆様、3年間本当にありがとうございました。



2年7組の津田凜さんと舟入高校の生徒2名が、3月2日から7日までニューヨークにて課外学習を行いました。9.11テロ博物館では、被害の詳細や起きた背景、犠牲者の人生に触れました。特に、犠牲者の生きた証を残すためご遺族が作成した、犠牲者一人ひとりの人生を見る展示が印象的で、テロ前の幸せな生活や、本来人それぞれ違うはずの死亡日が同じという点を見て、テロが何気ない日に突然起き、その後も続くはずだった日々が奪われたことを実感しました。またアルカイダの展示もあり、2つの拮抗する視点から事件を捉えることができました。国連ではODA主催の核廃絶イベントに参加し、中満泉事務次長やカザフスタンの外務第一次官から核廃絶の難しさと粘り強く取り組む重要性を教えていただきました。また国連職員の益子たく様との懇談を通じ、国際社会の課題解決には世論の変革が不可欠であり、その手段としての平和教育の重要性を再認識しました。

課外学習を通して、国際平和の実現について多角的に考え、行ったからこそ得た学びが多くありました。訪れた場所だけでなく、現地でお会いした方々のおかげでアメリカの文化にも触れ貴重な時間を過ごすことができました。この派遣に関わってくださった全ての方に心から感謝申し上げます。



## 生徒大会

3月14日（金）、高校1・2年生が出席して、生徒大会が開催されました。生徒会執行部からは令和6年度の生徒会活動報告と次年度の行事予定、各専門委員会委員長から、今年度の委員会活動報告や、来年度に向けた方針が示されました。また、生徒会費の決算報告と来年度予算案に対する審議も行われました。第四号議案の「生徒からの提言および要望」については、自習室の設置や夏場でのカーディガンの着用、学校行事におけるスマートフォンの利用緩和といった要望や、バス乗車のマナー・ルールについての明文化、挨拶や掃除のなお一層の励行といった提言がなされました。

## 大会等の結果

〈高校〉

◆長崎市スポーツ賞（射撃競技）  
2年7組 釜我 鈴乃

◆令和6年度長崎地区弓道選手権大会  
高校男子の部 個人 優勝  
2年4組 樋口 大也

◆第51回長崎県高等学校ソフトテニス個人選抜大会  
女子の部  
第3位  
2年6組 宇田川 ほのか /  
1年7組 吉田 凜珂 ペア  
第3位  
1年6組 鶴田 鈴呼 /  
2年2組 塩塚 唯花 ペア

◆第50回九州アンサンブルコンテスト  
クラリネット六重奏 銀賞

◆長崎県高等学校文化連盟表彰（囲碁）  
2年7組 鳥居 志帆

◆第1回グローバル探究カップin長崎  
長崎県教育委員会教育長賞 県産品大拡大チーム  
長崎大学 探究の芽賞 脱炭素ガールズ

◆第4回佐々木冷菓主催  
「長崎の夢！トラックデザインコンテスト」  
森永製菓 チョコモナカジャンボ賞  
2年7組 ホルツ・シルシャ・ノエル

〈中学〉

◆長崎市バドミントン冬季選手権大会  
男子ダブルス 第3位

2年1組 小川 燦陽 / 2年2組 古井 陽晟

◆第15回まつら音楽コンクール  
中学校部門ソロの部 金賞  
優秀賞 2年3組 木原 環

◆長崎市スポーツ奨励賞  
第12回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会  
中学生の部 BRミックス 優勝  
2年3組 中田 結菜

◆第34回九州中学生女子ソフトボール選抜大会  
優勝 2年1組 宮崎 亜

◆長崎県スポーツ奨励顕彰  
第12回全日本小中学生スポーツ射撃選手権大会  
BRミックス競技立射40発  
中学生女子の部 Mixed Team  
優勝 2年3組 中田 結菜

## 各学年より（学年主任からのメッセージ）

## 中学1年生

21回生の学年目標は「きずく」でした。これから始まる「ひがし」での6年間の学校生活に向けて成長の土台を築き、「皆によき東を創る」仲間との信頼関係を築いてきた1年間でした。新しくなった制服に身を包み、幼さの残る表情を見せながら登校していた入学当初と比べて、生徒たちは一歩ずつ、たくましく成長しているように感じます。

4月からは2年生。新入生を迎え、先輩としての新たな挑戦の日々が始まります。「あかるく、なかよく、たくましく」の精神で、これからも頑張っていきましょう。

## 中学2年生

先輩方に引っ張ってもらってばかりだった1年生の時と異なり、自分たちが後輩を指導する立場で過ごしたこの1年、先輩として自覚を持って過ごすことができただでしょうか。まだまだ心配な面もありますが、少しずつたくましい姿を見ることができるようになってきました。4月からは、東中の最高学年として、これまで以上に気を配り、思いやりの気持ちを持ち、学習面でもたくましさを見せてほしいと思います。来年3月にさらに成長した姿で、みんな笑顔で卒業するために、頑張ろう、20回生！

## 高校1年生

今年1年、多くの経験を積むことができました。様々な場面で「当たり前のことを当たり前にする力」が必要だったのではないのでしょうか。小さな努力の積み重ねが、大きな成果につながります。学びで得た「自分を越える力」や「協働性」は、今後の財産です。また、ストレスとの向き合い方も学びました。リフレッシュしながら、自分を客観視する力を養いましょう。今できることを意識し、自らを高める準備をしていきましょう。

そして、学年テーマ「Passion Positive and Patient」を胸に、情熱を持ち、ポジティブに物事を考え、忍耐強く挑戦し続けましょう。

## 高校2年生

4本柱を胸に、いい顔して学校生活を送れましたか？今年のサブテーマは「バランス感覚」でした。学習・部活動・行事・探究のバランス、学習の中でも教科のバランス、中堅学年としてのバランス、考え方のバランスなどなど…仕事や家庭、趣味などに置き換えると、人生で大事な能力だと思います。バランス感覚が崩れると自分も周りの人もきつくなります。色々な経験を通して、「ちょうどいい」を見つけて下さい。来年はいよいよラストイヤーです。4本柱の1本目「一生懸命・全力」の伏線回収があるかもしれません。お楽しみに！

## 転退任の教職員

## ○退職

## 【高校】

立木 貴文

上野 祐介

マシュー ヴェスパタッド

## ○転任（転出先）

## 【中学】

田嶋 修（上五島中）

中村 久美子（諫早中）

進藤 朋子（西陵高）

## 【高校】

尾崎 誠吾（高校教育課）

富野 雅嗣（市立長崎商業高校）

楠本 正樹（大村城南高）

山口 一守（清峰高）

阿比留 知恵（豊玉高）

細田 正俊（対馬高）

隈 修司（川棚高）

笹井 亮佑（県教育センター）

柏井 智志（上五島高）

岡田 郁人（対馬高）

## 【事務】

川端 裕也（吉岐商業高）

嶋津 大地（教育環境整備課）

お世話になりました。

## 主な行事 4月

1日(月)	学校開放(高3)
4日(金)	第2回入学予定者オリエンテーション(高) 新入生オリエンテーション(中) 学校開放(高3)
8日(火)	始業式・入学式 部活動禁止(高全)
9日(水)	課題テスト(高全) 部活動1時間程度(高2・3) 東志行(中1 ~11日)
10日(木)	課題テスト(高2・3) 東志行(高1 ~14日)
11日(金)	高校面談週間 45分授業(~4/25) 個人写真撮影(中1)
12日(土)	第1回学力推移調査(中2・3)
14日(月)	全国学力調査(中3)
15日(火)	学習ガイダンス(高1) 部活動編制(高)
16日(水)	部活動編制(中高) 心電図(中1・高1) 胸部レントゲン(高1) 専門委員会(中)
17日(木)	全国学力調査(中3) 県学力調査(中2) 内科検診(中1・高1)
18日(金)	尿検査(中高) 県学力調査(中3)
22日(火)	体育祭総合練習(中高)
23日(火)	長崎東安全の日 会場設営・応援合戦、ブロック 演技リハーサル(中・高)
24日(木)	体育祭
25日(金)	体育祭予備日
28日(月)	歓迎遠足(雨天時は校内行事)
30日(水)	メディア安全講話(高)

## 校長より

令和6年度の終わりに

校長 立木 貴文

「三寒四温」の言葉どおり、暖かい日と肌寒い日が交互に訪れながら、桜の季節が近づいています。

3月は“別れと出会いの季節”です。

3月1日には高校77回生が3年間、6年間通い慣れた学び舎を後にしました。数年ぶりに一人一人に壇上で卒業証書を渡すことができましたが、社会へと巣立つ決意に満ちた凛とした眼差しが、とても印象に残っています。中学校19回生も14日に節目となる卒業式を迎えました。彼らの晴れやかな表情も印象的でした。

一方、3月5日には高校一般選抜の合格発表も行われ、令和7年度に新たに長崎東の仲間となる、中学校22回生120名、高校80回生281名が揃いました。中学校は2月中に、高校は17日にオリエンテーションを行いました。入学予定の生徒たちは、緊張した雰囲気を感じつつも、期待に胸を膨らませて臨んでくれていました。

教職員についても、中学校・高校合わせて約20名が今春の人事異動で長崎東を離れます。勤務年数の長短はありますが、保護者の皆様や関係者に支えられながら、生徒とともにこの長崎東で学んだことを糧に、新任地でも活躍してくれることと思います。

私も3月で校長の任を終え、本校に別れを告げることとなりました。36年の教員人生の最後の2年間を、学習や部活動はもちろん校内外の諸活動に意欲的に取り組む可能性豊かな若者と過ごせたことの喜びは、母校で勤務することができた感慨よりも、はるかに大きなものでした。

本文をお読みいただいている皆様をはじめ、この間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただいた全ての皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

これからも引き続き、長崎東をよろしくお願ひいたします。

## 九段中等教育学校との連携協力協定締結式

3月4日(火)、本校と東京都の千代田区立九段中等教育学校とで連携協力協定を締結しました。両校は本年度9月の、本校の33回卒業生でもある九段中等教育学校の野村校長先生による本校訪問をきっかけに、本校からも学校訪問をし、探究やグローバル教育、教育DX等についてお互いの取組に学ぶとともに、各種活動を通じて生徒の交流も行っています。

当日は、九段中等教育学校より野村公郎校長先生にご来校いただき、長崎県教育委員会の久保田幸成参事のご出席のもと、両校校長が連携協定に署名しました。連携協力協定締結式のあとは、長崎東中学校・高等学校の生徒会、九段中等教育学校の自治会の生徒同士で交流会を行いました。お互いに学校の紹介や活動内容の紹介を行い、親睦を深め、今後の交流を約束しました。

今月22日には同校主催の英語即興ディベート大会に東京都立日比谷高校や、東京都立白鷗高等学校・附属中学校の生徒などとともに、本校中学生4名が参加します。また来年度4月以降、お互いの職員が、3日間交流研修に行き来する、職員の短期交流研修を開始予定です。



## 中山先生講演会

3月5日(水)、合同会社 ALL HEROs 代表で、元岡山大学准教授の中山芳一先生をお招きして、生徒向け講演会を実施しました。この講演会は、高校1年生から実行委員を募り、実行委員が企画・運営を行いました。

講演では、これからの社会を生きる上で大切な「非認知能力」や「主体的に行動する力」について、具体的な事例を交えながらお話をいただきました。先生の言葉には説得力があり、生徒たちにとって新たな視点を得る貴重な機会となりました。以下に生徒の感想の一部を紹介します。

○「言葉にすると行動しやすくなる」目標や考えを言葉にすることで、自分の行動が明確になり、実行しやすくなることを実感しました。

○「自分が誰のために行動しているのかを考える」日々の行動が、周りの人にどのような影響を与えているのかを意識するきっかけになりました。

○「価値観と意識は変えられる。変化していくことが大事」考え方や行動は、努力次第で変えていけることを学び、前向きな気持ちになりました。

